

◆不用衣料品を回収する主な取り組み

取り組み名	ブラリサイクル キャンペーン	下着リサイクル キャンペーン	古着de ワクチン	下着de乳(NEW) スマイル	丸井の下取り	靴の下取り キャンペーン
実施会社	ワコール	トリンプ	日本リユースシステム、リクルート	丸井グループ	チヨダ	
対象品	ブラジャー	ブラジャー、 女性用下着	洋服、子供服、 服飾雑貨、バッ グなど	下着類全般、靴下、 レギンスなど	洋服、子供服、 バッグ、紳士靴、 婦人靴など	革靴、スニーカ ー、長靴など
期間	2016年 3月31日まで	12月31日まで	通年		衣類は年数回、 靴は通年	通年
参加方法	店頭で回収袋を受け取り、 詰めて持参		伝票や専用段ボールを購入、 業者が回収		店頭へ持ち込み	店頭ボックス で回収
特徴、 注意点	1袋6枚まで	袋に封ができる 分量、ショーツ は除く	指定の箱のサイズに詰められる だけ、再着可能なもの		1人5~15点まで、 スーツや子供 靴は除く	1人5足まで、 泥や汚れは 落とす
引き換え品	52円切手(1袋につき)		1000円クーポン (1箱につき)	500円または1000 円クーポン(同左)	200円商品券 (1点につき)	200円商品券 (1足につき)

企業に広がる

古着集めて社会貢献

年末の大掃除で、さほど傷んでいないものの不用となった衣類や靴が出てくることもある。このような衣料品を切手や商品券などと引き換えに回収し、再生資源に加工したり、古着として再利用したりする企業の社会貢献事業が盛んだ。(上原三和)

■メーカー不問
ほとんどの企業は、回収する不用衣料品のメーカー、販売元は問わない。ただ、種類は決まっており、汚れたものや破損したものは受け取らない場合もある。

下着メーカーのワコールとトリンプは、一般ゴミとして捨てにくいブラジャーなどの下着類を百貨店や直営店などで回収している。両社とも流れは同じだ。店頭で無料配布する中身が見えない専用回収袋に下着を詰めて持参すると、1袋と引き換えに52円切手をもたらされる。ワコールは2008年に取り組みを始め、累計でブラジャー112万8600枚相当を回収した。09年から開始したトリンプもブラジャー50万2400枚相当を回収している。

回収された下着は、袋詰めのままリサイクル業者へ送られる。開封されずに粉

砕かれ、金属類などを取り除いてから、産業用の固形燃料に加工される。

■途上国を支援
リサイクル専門業者の日本リユースシステム(東京)が、リクルートのインターネット通販サイト「赤すぐnet」(ERUCA)と取り組むのは、衣類や服飾雑貨や下着類を対象にした回収サービスだ。衣類や服飾品は「赤すぐnet」の「古着deワクチン」で、下着類は「ER



①ワコール(左)とトリンプの下着回収袋。丸井グループが回収した衣類の一部は、東日本大震災の被災地で古着として販売される(10月、宮城県女川町で)。



UCA)の「下着de乳(NEW)スマイル」で集荷用の宅配便の伝票を購入(下着は540円、古着は1080円)、段ボール箱付きもあり、税込み)する。衣類などを詰め、送られてきた伝票を使って指定された配送業者に引き渡す。後日、それぞれのサイトで使える500円または1000円のクーポン券が送られてくる。伝票購入代金の一部は、古着は途上国の子どもへのワクチン接種代金に、下着なら乳がん患者の母親を持つ高校生の学習支援活動に使われる。回収品も東南アジアを中心とした途上国に送られ、現地の女性による

選別作業を経て販売され、雇用や収入につなげている。

丸井グループも、各店舗で衣類や靴などの下取りを行う。ともに1点の持ち込みにつき、同グループの店舗で使える200円の商品券がもらえる。

回収した品物は、選別後、古着として販売する。一部は、東日本震災の復興支援として宮城県女川町や南二陸町の個人商店へ無償で送られ、販売される。

靴から燃料に
靴販売のチヨダは昨年から全国約1090店舗で靴の回収を始めた。1足と引き換えに店舗で使える200円の商品券が配られる。回収品は焼却処分されるが、関東地方の約300店舗から回収した靴はリサイクル専門工場の焼却用燃料に使われる。革や靴底のゴムの部分に油分が多く含まれている点に着目した取り組みで、熱エネルギーとしての有効利用(サーマルリサイクル)だ。今後は、靴を古着のように途上国などで再利用することも検討するといふ。